

様式第二号の八(第八条の四の五関係)

(第1面)

産業廃棄物処理計画書	
令和6年 6月 13日	
岐阜県知事	殿
提出者	
住 所 土岐市泉町久尻1460-1	
氏 名 土岐可鍛工業株式会社	
代表取締役 紺野 敏之	
電話番号 0572-54-1204	
廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。	
事業場の名称	土岐可鍛工業株式会社
事業場の所在地	土岐市泉町久尻1460-1
計画期間	2024年4月1日から2025年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
① 事業の種類	大分類：製造業 中分類：輸送用機械器具製造業 小分類：自動車・同附属品製造業
② 事業の規模	前年度の製造品出荷額 2439百万円
③ 従業員数	90人
④ 産業廃棄物の一連の処理の工程	別紙1の通り

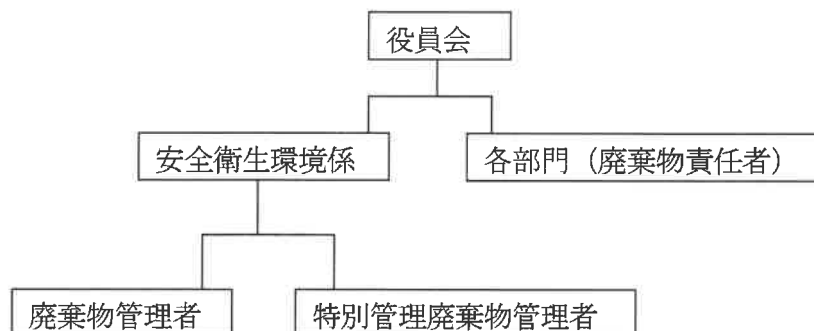


(日本工業規格 A列4番)

(第2面)

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)



産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

① 現状	【前年度（令和5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	排出量	t	t
	(これまでに実施した取組) 別紙2の通り		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	排出量	t	t
	(今後実施する予定の取組) 別紙2の通り		

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 鉾さい 専用ヤード又は専用箱を設けて種類ごと分別管理している。
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 現状の取り組みを引き続き実施する。

(第3面)

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

① 現状	【前年度（令和5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	鉋さい	
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	0 t	t
	（これまでに実施した取組） 該当なし		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	鉋さい	
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	0 t	t
	（今後実施する予定の取組） 該当なし		

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

① 現状	【前年度（令和5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	0 t	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	0 t	t
	（これまでに実施した取組） 該当なし		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	0 t	t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	0 t	t
	（今後実施する予定の取組） 該当なし		

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項			
① 現状	【前年度（ 令和 5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	0 t	t
	(これまでに実施した取組) 該当なし		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組) 該当なし		
産業廃棄物の処理の委託に関する事項			
① 現状	【前年度（ 令和 5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	鉍さい	
	全 処 理 委 託 量	2432 t	t
	優良認定処理業者への処 理 委 託 量	1321 t	t
	再生利用業者への処 理 委 託 量	2418 t	t
	認定熱回収業者への処 理 委 託 量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処 理 委 託 量	t	t
	(これまでに実施した取組) 原則として鉍さい全量を、再生利用ができる委託業者に処理委託している。 当期、例外的に発生した分別不可の鉍さい混合品については、管理型として埋立処分場へ処理委託した。		

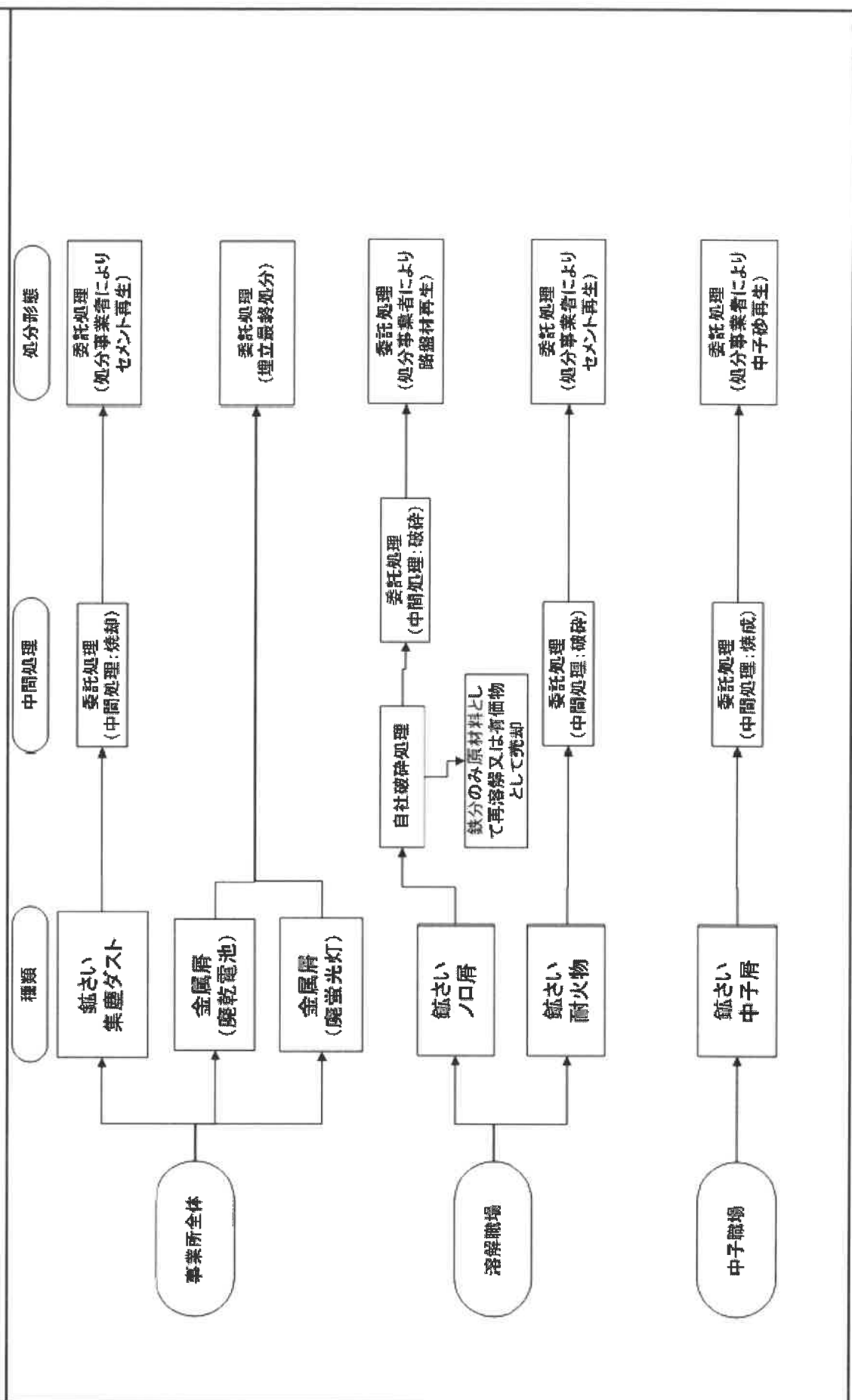
(第5面)

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	鉾さい	
	全 処 理 委 託 量	2460 t	t
	優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	1350 t	t
	再生利用業者への 処 理 委 託 量	2460 t	t
	認定熱回収業者への 処 理 委 託 量	t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量	t	t
	(今後実施する予定の取組) 既存の委託契約先との取引関係を継続しつつ、各社の優良認定 取得状況をみながら、今後の選定指標のひとつとして活用する。		
※事務処理欄			

備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
 - (3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

別紙1 産業廃棄物の一連の処理の工程



産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度（ 令和5年度） 実績】	<table><tr><th>産業廃棄物の種類</th><th>鉋さい (集塵ダスト)</th><th>鉋さい (ノロ屑)</th><th>鉋さい (中子屑・シヨツト砂)</th><th>鉋さい (炉材耐火物屑)</th><th>鉋さい (混合物)</th><th>金属屑 (廃乾電池)</th><th>ガラス屑と金属屑 の混合物 (廃蛍光灯)</th><th>廃油</th><th>木くず</th><th>廃プラスチック</th></tr><tr><td>排出量</td><td>1,337t</td><td>345t</td><td>694t</td><td>41t</td><td>14t</td><td>0.08</td><td>0.04</td><td>1t</td><td>2t</td><td>7t</td></tr></table> <p>(これまでに実施した取組)</p> <ul style="list-style-type: none">・鉄分回収による鉋さい(ノロ屑)排出量の低減・上記設備のメンテナンス実施による、鉄分回収比率の向上と鉋さい排出の抑制・炉の耐火材張り替え補修のサイクル長期化による、鉋さい(炉材耐火物屑)低減・工場・事務所照明のLED化推進による蛍光管の長寿命化	産業廃棄物の種類	鉋さい (集塵ダスト)	鉋さい (ノロ屑)	鉋さい (中子屑・シヨツト砂)	鉋さい (炉材耐火物屑)	鉋さい (混合物)	金属屑 (廃乾電池)	ガラス屑と金属屑 の混合物 (廃蛍光灯)	廃油	木くず	廃プラスチック	排出量	1,337t	345t	694t	41t	14t	0.08	0.04	1t	2t	7t
	産業廃棄物の種類	鉋さい (集塵ダスト)	鉋さい (ノロ屑)	鉋さい (中子屑・シヨツト砂)	鉋さい (炉材耐火物屑)	鉋さい (混合物)	金属屑 (廃乾電池)	ガラス屑と金属屑 の混合物 (廃蛍光灯)	廃油	木くず	廃プラスチック													
排出量	1,337t	345t	694t	41t	14t	0.08	0.04	1t	2t	7t														
②計画	【目標】	<table><tr><th>産業廃棄物の種類</th><th>鉋さい (集塵ダスト)</th><th>鉋さい (ノロ屑)</th><th>鉋さい (中子屑・シヨツト砂)</th><th>鉋さい (炉材耐火物屑)</th><th>鉋さい (混合物)</th><th>金属屑 (廃乾電池)</th><th>ガラス屑と金属屑 の混合物 (廃蛍光灯)</th><th>廃油</th><th>木くず</th><th>廃プラスチック</th></tr><tr><td>排出量</td><td>1,361t</td><td>351t</td><td>706t</td><td>42t</td><td>0t</td><td>0.2t</td><td>0.04</td><td>1t</td><td>2t</td><td>5t</td></tr></table> <p>(これまでに実施した取組)</p> <ul style="list-style-type: none">・生産性向上と不良率低減のための取組みを継続し、効率稼働による排出量の抑制を図る	産業廃棄物の種類	鉋さい (集塵ダスト)	鉋さい (ノロ屑)	鉋さい (中子屑・シヨツト砂)	鉋さい (炉材耐火物屑)	鉋さい (混合物)	金属屑 (廃乾電池)	ガラス屑と金属屑 の混合物 (廃蛍光灯)	廃油	木くず	廃プラスチック	排出量	1,361t	351t	706t	42t	0t	0.2t	0.04	1t	2t	5t
	産業廃棄物の種類	鉋さい (集塵ダスト)	鉋さい (ノロ屑)	鉋さい (中子屑・シヨツト砂)	鉋さい (炉材耐火物屑)	鉋さい (混合物)	金属屑 (廃乾電池)	ガラス屑と金属屑 の混合物 (廃蛍光灯)	廃油	木くず	廃プラスチック													
排出量	1,361t	351t	706t	42t	0t	0.2t	0.04	1t	2t	5t														